



小倉 健一 議員
(志翔会)



選挙投票所の変更について

Q 投票所変更による投票への影響を補う対策に送迎バスの運行等がされたが、次回選挙に向けてどのように取り組む考えか伺いたい。

A 選挙管理委員会書記長

今回の選挙では、投票所を再編した地区のうち、15か所から変更後の投票所へワゴン車による移動支援を行いました。対象地域の方々には、PRチラシを全戸配布しましたが、実際の利用者は2名という結果でした。次回の選挙でも引き続きPR活動を行い、今回同様の移動支援を行いたいと思います。

また、市では様々な用途に活用できるマルチタスク車両の導入を検討していますので、その車両の移動投票所としての活用も併せて検討していきたいと考えています。

その他の質問

☆出流原PA周辺開発について
☆地域一体となった観光地観
☆光産業の再生・高付加価値
☆化事業について



早川 貴光 議員



少子化対策の取組について

Q 地域アプローチによる少子化対策の推進に関する調査研究事業を行った結果、新規事業の提案を複数しているが、その中でも、子育てサポート企業としてのくるみん認定を受けた企業の奨励について、具体的な内容及び狙っている効果を伺う。

A 総合政策部長

男性、女性の育児休業取得率の要件を満たすなど、次世代育成支援対策推進法に基づいた事業主行動計画を策定することで認定されてくる、くるみん認定企業に対して奨励金を交付することで、認定を目指す企業が増え、子育て中の労働者の労働環境が向上し、安心して子育てができる社会の構築につなげるという事業提案です。

その他の質問

☆性的指向及びジェンダー
☆イデンティティの多様性
☆関する国民の理解の増進に
☆関する法律に対する当局の
☆考え方について
☆SNSによる災害発災時に
☆おける情報発信について



菅原 達 議員
(公明党議員会)



地域の猫との共生について

Q 周辺の生活環境の保全や猫の殺処分を減らし、飼い主のいない猫との共生を進めるためには、まずは増やさないことが重要である。一部のボランティアの善意を頼りに個々に対処するのではなく、地域によって状況が異なる問題を俯瞰的に捉えた上で、地域住民とボランティア、行政の3者が協働で解決に当たるべき地域課題であると言え、その課題の解決に向け、地域猫活動を推進すべきであると考えがいかがか。

A 副市長

議員ご指摘のとおり、地域住民、ボランティア、行政を含め、協働して解決するものと考えています。今後とも、地域の実情等に合った仕組みについて、関係者と意見交換をし、引き続き問題解決に取り組む必要があるものと考えています。

その他の質問

☆教育を受ける機会の確保及
☆び教育水準の維持向上につ
☆いて
☆災害弱者の避難体制の整備
☆について

